

# 令和5年度 コミュニケーション英語Ⅲ シラバス

<b>「コミュニケーション英語Ⅲ」</b>	単位数	<b>4単位</b>	学科	<b>英語科</b>	学年・学級	<b>第3学年 1組～8組</b>
-----------------------	-----	------------	----	------------	-------	-------------------

<b>学習の到達目標</b>	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。		
<b>使用教科書</b>	(コⅢ345) Vivid English CommunicationⅢ 第一学習社	副教材等	同教科書準拠本文完成ノート、WORK&DRILL 第一学習社

期	月	種	学習項目	学習内容
1 学期	4 月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。
		1 学期 中 間 考 査	Get Ready 1	<ねらい> 意味のまとまりごとに区切って英文を読み、内容を把握することができる。
			Get Ready 2	<ねらい> 英文を読み、代名詞の指す内容を理解することができる。
	5 月		Get Ready 3	<ねらい> つながりの語句に注意して英文を読み、文と文の関係や論の展開をつかむことができる。
			Get Ready 4	<ねらい> 英文を読み、主題文と指示文がどれであるか把握し、パラグラフ全体の概要をつかむことができる。
			Get Ready 5	<ねらい> 英文を読み、導入・展開・まとめなど文章の構成を把握し、英文全体の流れをつかむことができる。
	6 月	1 学期 期 末 考 査	Get Ready 6	<ねらい> 英文を読み、導入・展開・まとめなど文章の構成を把握し、英文全体の流れをつかむことができる。
Lesson 1 Happy Nations			<題材内容とねらい> ・コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取らせる。 ・幸福であるとはどういうことか、自ら考えさせる。 ・自分に幸福を感じさせるものや日本国民を幸せにするためのアイデアを発表させる。 <言語材料> 助動詞+have+過去分詞、独立不定詞を理解し、文を作ることができる。	
7 月		Lesson 2 “Gamification”: Games May Save the World	<題材内容とねらい> ・「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取らせる。 ・「ゲーミフィケーション」がもたらす効果や、今後どのような分野に応用されるかについて自ら考えさせる。 ・オンラインゲームや節電方法について発表させる。 <言語材料> 省略、無生物主語を理解し、文を作ることができる。	
2 学期	9 月	2 学期 中 間 考 査	Lesson 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<題材内容とねらい> ・クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取らせる。 ・クモの糸のもつ可能性について自ら考えさせる。 ・クモの巣と楽器について発表させる。 <言語材料> 代動詞、部分否定を理解し、文を作ることができる。

学期 月	月	種	学習項目	学習内容
2 学期 末 考 査	10 月		Lesson 4 Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読み取らせる。</li> <li>生物や環境を守る取り組みについて自ら考えさせる。</li> <li>リサイクル製品や絶滅の危機に瀕した動物について発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し、文を作ることができる。</p>
			Lesson 5 Gagaku, the Music of the Universe	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取らせる。</li> <li>自国の文化に対する理解を深め、雅楽の魅力について考えさせる。</li> <li>日本の伝統音楽や伝統芸能について発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>分詞構文（完了形）、関係副詞の非制限用法を理解し、文を作ることができる。</p>
	11 月	2	Lesson 6 Etymology: Wonders of Words	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>語の歴史や起源について読み取らせる。</li> <li>英単語の語源や語義変化について考えさせる。</li> <li>英単語に関して自分のもっている知識を発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>文修飾副詞、準否定語を理解し、文を作ることができる。</p>
	12 月		Lesson 7 A Lesson from Steve Jobs' Life	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取らせる。</li> <li>自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考えさせる。</li> <li>自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>more A than B, 強調構文を理解し、文を作ることができる。</p>
			Lesson 8 Water: The Biggest Problem in the Century	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で起こっている水危機の現状を読み取らせる。</li> <li>水危機の解決のためにできることを自ら考えさせる。</li> <li>節水の方法や、雨水と再利用水の利用法について発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>未来のことを表す仮定法, if it were not for ... [if it had not been for ...]を理解し、文を作ることができる</p>
3 学期	1 月	学 年 末 考 査	Lesson 9 A Lucky Child	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読み取らせる。</li> <li>平和と人権の尊さについて自ら考えさせる。</li> <li>幸運な経験、人を手助けした経験や手助けしてもらった経験について発表させる。</li> </ul> <p>&lt;言語材料&gt;</p> <p>have+O+過去分詞, as if+仮定法を理解し、文を作ることができる。</p>
	2 月		Reading 1 Information Please	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。</li> <li>出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。</li> </ul>
			Reading 2 Becky and the Wolf	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。</li> <li>出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。</li> </ul>
各学期の評価方法			<p>&lt;評価の対象&gt;</p> <p>① 定期考査の成績、②各課の単元テスト、単語テストなどの成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。</p>	
学年の評価方法			<p>① 基礎的な知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。</p>	